

## ①学習課題（中学校3年生）



### 【国語】

#### <内容>

○教科書の「社会との関わりを伝えよう（P36～P40）」を参考にして、自分の体験や考えたことを、聞く人の心に残るようにスピーチをするためには、どのような工夫をしたらよいか考えてみよう。また、自分の考えたことを家の人に伝えてみよう。

（2週継続）

#### <取り組み方>

- ① 教科書 P36 の「相手や目的に応じたスピーチをする」の部分を音読してみよう。
- ② 自分が社会生活で体験したことを振り返り、印象深いものや人に伝えたいと思う事柄をノート等書き出してみよう。
  - ・ P37 「スピーチの話題を考えよう」を音読してみよう。
  - ・ P37 「話題の例」を参考にして、「地域の行事」「学校行事」「ボランティア活動」「新聞記事」など、観点を決めて思い出してみよう。
- ③ ②で書き出したものの中から、聞いている人の心に残るようなスピーチにふさわしいと考えた話題を一つ選んでみよう。
- ④ ③で選んだ話題を、場面と相手を変えてスピーチするとしたら、目的がどのように変わるか考えてみよう。
  - ・ P37 「場面・相手と目的の設定例」のような形式で、4種類の場面・相手を想定し、それぞれの目的について書き出してみよう。
  - ・ 場面・相手の例
    - ・ 他校との交流会で、同じ学年の中学生にスピーチするとしたら。
    - ・ 校区の小学校との交流会で、小学3年生にスピーチするとしたら。
    - ・ 保護者参観で、保護者にスピーチするとしたら。
    - ・ 入学試験の面接で、面接官にスピーチするとしたら。

※①～④に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

## 【社会】

### <内容>

第一次世界大戦後に国際連盟が設立されたにもかかわらず、なぜ、欧米諸国や日本は再び戦争につき進んだのでしょうか、調べたり考えたりしたことを、取組シートやノートにまとめましょう。

### <取り組み方>

- (1)教科書 P214 の資料①～④や本文を参考に、世界<sup>きょうこう</sup>恐慌がおきたきっかけを調べてまとめよう。また、教科書 P214～215 の本文や資料⑤～⑨の資料を参考に、世界恐慌が日本の人々の生活に与えた影響を調べてまとめよう。
  - (2)教科書 P216～P217 の本文を参考に、世界恐慌に対して欧米諸国がとった対応を調べてまとめよう。
  - (3)教科書 P218～P220 を参考に、1930年代に日本でおきたできごとを調べて、政治の変化の流れをまとめよう。
  - (4)P221 を参考に、戦争を続ける中で定められた法律や、人々の生活におきた変化を調べてまとめよう。
- ※ヒトラーがドイツで支持<sup>しじ</sup>を得た理由を、教科書 P198～199 や教科書 P217 を参考に考え、自分の言葉で取組シートやノートにまとめてみよう。

### <学習のヒント>

- (1)不景気が社会や人々に与える影響を、アメリカと日本の様子を比較してまとめてみましょう。
  - (2)アメリカ、イギリス、フランス、ソ連、イタリア、ドイツが行った政策や事柄の違いに着目してみましょう。
  - (3)教科書 P219 の資料⑥を参考に、大正デモクラシーの時代と比較しながら政党政治がどのように変化したのか考えてみましょう。
  - (4)教科書 P220～P221 の資料①、③～⑤を参考に、当時の社会の雰囲気からも考えてみましょう。
- 本文中に出てきた国や地名の場所を地図帳で確認しよう。

### ◆「平和へのメッセージ」を募集<sup>ぼしゅう</sup>しています。

札幌市では、現在、平和への思いを込めたメッセージ（絵や詩）を募集しています。自分が考える平和について表現してみませんか。応募<sup>おうぼ</sup>チラシや応募用紙が、下のホームページアドレスや右のQRコードから見るができますので、興味をもったあなたは、ぜひ挑戦してみてください。

☒ <http://www.city.sapporo.jp/shimin/heiwa/koryu.html>



## 【数学】

### <内容>

整数の性質を調べ、その性質を証明しよう。

～連続する2つの偶数の積に1を加えるとどんな数になる？～

### <取り組み方>

- ① 教科書 P36 のQの□をうめて、結果からどんなことがいえるかを予想してみよう。
- ② ①で予想したことを、文字式を使って証明しよう。証明を「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ③ ②の証明から、①で予想したこと以外にどんなことを読み取ることができるか、「取組シート」やノートに書いてみよう。
- ④ 「連続する2つの偶数の積に1を加える」という問題の条件を変えた場合、どんなことが予想できるか調べてみよう。また、そのことを証明してみよう。証明を「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）

### <学習のヒント>

- ①  $2 \times 4 + 1 = 9$ 、 $4 \times 6 + 1 = 25$ 、 $6 \times 8 + 1 = 49$ …なので、9、25、49…はどんな数なのか考えてみましょう。
- ② 教科書 P37 では、①の予想を「奇数の2乗」としたときの証明が、途中まで示されているので、この続きを考えてみましょう。これまでに学習した展開と因数分解を使うことがポイントです。  
①の予想を「奇数の2乗」以外にした人は、教科書 P37 の証明の「したがって」の後をどのように変えればよいか考えてみましょう。
- ③ 読み取りをするために、変形した式に着目してみましょう。（ ）の中の式は、どんな数を表しているのでしょうか。  
①で予想したこと以外に読み取れることが思いつかない場合は、さらに別の形に式を変形することができないか考えてみたり、もう一度①に戻って、他に言えることがないか考えたりしてみましょう。
- ④ 「連続する 2つの 偶数の 積に 1 を加える」という問題の下線部のうち、1つ変えるだけでも新たな問題になります。問題をつくったら①と同様に具体的な数で予想してみよう。もし、うまく予想できなかつたら、条件を変えて再度挑戦しましょう。  
例えば、「偶数」を「奇数」に変えたときに、①～③で調べたことが言えるか考えてみましょう。

## 【理科】

### <内容>

◆「植物の<sup>ゆうせいせいしょく</sup>有性生殖」はどのように進んでいくか考えよう。

### <取り組み方>

- ① 教科書 P14～15 を参考に、受粉後の花粉に起こる変化に着目して、図や言葉でまとめてみましょう。
- ② 動物の有性生殖と「共通するところ」や「異なるところ」として気付いたことをまとめてみましょう。

### <学習のヒント>

- ・中学1年生で学習した「花から種子ができること」の内容を思い出しながらまとめてみましょう。

### 参考

※各教科書会社HPには、臨時休業中の学習に役立つ内容が掲載されており、札幌市公式HP「臨時休業中の学習課題」内の「役立つリンク集」で紹介しています。  
各教科の学習を進める際に、お役立てください。



## 【英語】

### <内容>

◆教科書 P13 の会話文は、野菜のルーツについてのスピーチを書いている大介ところに、マイクが訪ねてきた時のものです。P13 の地図や写真、絵などを見ながら2人の会話を読んで、①～③に挑戦してみましょう。

（教科書 P125～の巻末資料7で、単語や熟語の意味を調べることができます。）

### <取り組み方>

- ① 教科書 P13 のマイクと大介の会話を読んで、次の質問に口頭で答えてみましょう。  
（できれば英語で答えてみましょう。）

1) Has Daisuke finished his homework yet?

2) What is Mike correcting?

- ② 教科書 P13 のスピーチ原稿を読んで、きゅうりがどのようにして日本にもたらされたかについて、キーワードを用いて説明してみましょう。「取組シート」または「家にあるノート」に書いてみましょう。

<キーワード>

・インド ・ヨーロッパ ・ローマ人 ・ハイチ ・コロンブス ・北アメリカ  
・中国 ・1494年 ・6世紀

- ③ 会話の様子や内容を思い浮かべ、上がり調子 (♫) や下がり調子 (♭) を意識しながら、声に出して読んでみましょう。

★ Basic Dialog、New Words、本文の音声教材は、教科書会社のホームページで配信されているものが活用できます。

札幌市教育委員会ホームページ>「臨時休業中の学習課題」>PDF<中学校教科書一覧>

※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。